

平成23年度 事務事業評価シート

平成23年度 事務事業評価シート				課名		農林水産課			農林係		No	1	
施策体系	大項目(政策)				中項目(施策)				小項目(基本事業)				
	8	自然環境の保全と活用			2	自然環境の保全と適正活用			1	森林・里山環境の保全			
事業名	菩提寺山市民の森維持管理事業												
予算費目	款	6	農林水産業費		項	2	林業費		目	2	林業振興費		
	細目	1	林業振興費		細々目	8	菩提寺山市民の森維持管理費		会計種別		一般会計		
事務区分(根拠法令)			自治事務 ()					予算種別		継続		経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
菩提寺山は、昭和54年の山火事により約10haを焼失。その復旧と治山・森林保全及び保健効果を狙いとして森林を造成・改良し、社会生活に深く結びついた自然とのふれあいの場を提供することを目的として、昭和57年から3年間、山口県が主体となった「生活環境保全林整備事業」により約30haを整備。また昭和59年度から「菩提寺山ふれあいと健康の森整備事業(単市)」により案内板や東屋、トイレ等を整備。	施設維持管理	給水施設の保守管理、清掃委託、受光伐、下刈り、防火帯整備を実施	
活動指標		成果指標	
森林保全・保健機能の維持		除伐・防火帯整備	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
-	-	5.75ha	5.75ha
100 %			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	388,500	377,509	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	役務費	31,000	28,633		県支出金 ()		
	委託料	2,776,500	2,763,800		地方債 ()		
					その他 ()		
					一般財源 ()	3,196,000	3,169,942
合 計		3,196,000	3,169,942	合 計		3,196,000	3,169,942
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	302,050				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題	改善策
施設老朽化が進行 給水施設については修繕・機械更新が必要 東屋は破損状況により修繕又は撤去 松くい被害にあった枯損木は伐倒	予算の確保
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

平成23年度 事務事業評価シート

平成23年度 事務事業評価シート				課名		農林水産課		農林係		No	2	
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)					
	8	自然環境の保全と活用			2	自然環境の保全と適正活用		1	森林・里山環境の保全			
事業名	山林環境整備事業											
予算費目	款	6	農林水産業費		項	2	林業費		目	1	林業総務費	
	細目	1	林業総務費		細々目	1	林業総務費		会計種別		一般会計	
事務区分（根拠法令）			自治事務（					予算種別		継続		臨時

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
国の緊急雇用対策事業を活用し、平成21年度から平成23年度にかけて、林道の維持管理、山林、竹林の環境整備を行う。	山林の環境を保全することを目的に、市内の森林整備及び林道等の維持管理等を行う。	業務委託契約を締結。仕様書の雇用計画により新規雇用者を確保し業務実施	
活動指標		成果指標	
仕様書に基づく業務委託契約を締結		実施箇所・林道本数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
新規雇用者4名 雇用延べ日数320日	新規雇用者4名 雇用延べ日数326日	2箇所 10本	2箇所 10本
100%			

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	委託費	5,354,000	5,344,500	財(源割内合訳)	国庫支出金	()	5,354,000
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
					一般財源	()	
合 計		5,354,000	5,344,500	合 計		5,354,000	5,344,500
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	302,050				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題		改 善 策	
事業の方向性（一次評価）		事業の方向性（二次評価）	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			

平成23年度 事務事業評価シート

平成23年度 事務事業評価シート				課名		農林水産課			耕地係		No	16
施策体系	大項目(政策)				中項目(施策)				小項目(基本事業)			
	8	自然環境の保全と活用			2	自然環境の保全と適正活用			2	農地環境の保全		
事業名	農地・水・環境保全向上対策事業(共同活動支援交付金事業)											
予算費目	款	6	農林水産業費		項	1	農業費		目	5	農地総務費	
	細目	1	農地総務費		細々目	4	農地・水・環境保全向上対策事業		会計種別		一般会計	
事務区分(根拠法令)			自治事務 ()					予算種別		継続		経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
農業従事者の高齢化、担い手不足により耕作放棄地の増加、農村環境の悪化が懸念されている。そのような中で、農地、農村の持つ多面的な機能の維持・保全に取り組む必要がある。		農業者だけでなく、非農業者と一緒に活動を実施することで、地域の環境を守る意識の高揚が図られる。		活動組織の維持・保全活動に対して補助金を交付する。	
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)	
集落協定数		活動対象農用地面積		100	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	%	
22団体	22団体	746.51(ha)	746.51(ha)		

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	407,000	407,000	財(源割内合訳)	国庫支出金	()	
	負担金、補助及び交付金	8,285,000	8,064,010		県支出金	4	407,000
					地方債	()	
					その他	()	
					一般財源	96	8,285,000
合 計		8,692,000	8,471,010	合 計		8,692,000	8,471,010
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.5	3,020,500				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題	改善策
23年度で1期対策が終了する。 24年度からは2期対策が開始する。	全国的に事業の継続を要望する意見が多く、24年度から5年間継続されることになった。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

平成23年度 事務事業評価シート

平成23年度 事務事業評価シート				課名		農林水産課		耕地係		No	2	
施策体系	大項目(政策)			中項目(施策)			小項目(基本事業)					
	8	自然環境の保全と活用			2	自然環境の保全と適正活用		2	農地環境の保全			
事業名	農地・水保全管理支払交付金事業(向上活動支援交付金事業)											
予算費目	款	6	農林水産業費		項	1	農業費		目	5	農地総務費	
	細目	1	農地総務費		細々目	5	向上活動支援交付金事業		会計種別		一般会計	
事務区分(根拠法令)			自治事務 (					予算種別		継続		臨時

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
現在、農地・水保全管理支払交付金（共同活動支援交付金事業）により、農地環境の保全に取り組んでいる。しかし、農業施設の老朽化が進んでいることから、これらの更新・長寿命化が強く望まれている。		既存の農業用施設の長寿命化を図ることと、周辺環境の保全につながり、労働環境の改善に寄与する。		活動組織内にある農業施設の更新・長寿命化工事に交付金を交付する。	
活動指標		成果指標			成果指標の到達度 (B/A)
取組活動組織数		補修、更新工事施工箇所数(23年度分)			
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)		100 %
22(組織)	13(組織)	計画 18(箇所)	18(箇所)		

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	3,227,000	3,226,700
合 計		3,227,000	3,226,700

歳入			予算現額(円)	決算額(円)
財（割 源内訳）	国庫支出金	()		
	県支出金	()		
	地方債	()		
	その他	()		
	一般財源	100	3,227,000	3,226,700
合 計			3,227,000	3,226,700

人 件 費 概 算		人工数(人役)	人件費(円)
		0.45	2,718,450

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題	改 善 策
すべての活動組織で事業に取り組むたいが、予算の制約もあり、新規採択が難しい。	活動組織との連絡を密にし、現状を説明し、理解いただいている。
事業の方向性(一次評価)	事業の方向性(二次評価)
A 計画どおり事業を進めることが適当	A 計画どおり事業を進めることが適当
その他	

平成23年度 事務事業評価シート

平成23年度 事務事業評価シート				課名		環境課			生活衛生係		No	1		
施策体系	大項目(政策)				中項目(施策)				小項目(基本事業)					
	8	自然環境の保全と活用				2	自然環境の保全と適正活用			3	海・河川環境の保全			
事業名	河川海岸保全事業													
予算費目	款	4	衛生費		項	1	保健衛生費		目	3	環境衛生費			
	細目	2	環境衛生経費		細々目	1	環境衛生経費		会計種別		一般会計			
事務区分 (根拠法令)			()						予算種別		継続		経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
自然環境は、水源の涵養、大気の浄化、景観形成など多くの公益的機能を有しており、また、多くの動植物の生存の場として人間を含むすべての生態系を支える源であるため、森林・農地や海・河川などの自然環境の保全に努める必要がある。		地域住民・ボランティア団体等の行う河川・海岸などの清掃活動を支援することにより、海・河川などの自然環境の保全を図る。		地域住民・ボランティア団体等の行う河川・海岸などの清掃活動を支援する。	
活動指標		成果指標			成果指標の到達度(B/A)
河川海岸清掃参加地区数		河川海岸清掃参加人数、収集トラック数			
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)		100%
5地区(有帆・厚狭・出合・厚陽・埴生)	5地区	参加者5000人	参加人数5,057人、収集トラック102台		

2 DO

歳出		予算現額(円)	決算額(円)	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
支出内訳	清掃委託料	755,000	475,500	財(源割内合訳)	国庫支出金()		
	残土運搬等委託料	450,000	280,250		県支出金()		
					地方債()		
					その他()		
					一般財源()	1,205,000	755,750
合 計		1,205,000	755,750	合 計		1,205,000	755,750
人 件 費 概 算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	628,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必 要 性	有 効 性	効 率 性	成 果 指 標 の 達 成 度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課 題		改 善 策	
・現在は、各地区の自治会協議会が主体となって善意的に取り組んでもらっているが、今後も継続をしていただけるかどうか。 ・各地区共に清掃箇所が広範囲である。高齢化が進み、時期的に夏の作業でもあるため、かなりきつい作業となっている。		・市としてできるパッカー車の出動・草の回収は、最大限の支援を今後行うことが必要。 ・両岸斜面の危険箇所や草の回収が難しい箇所など作業範囲の状況報告と、県土木建築事務所との協議が必要と考える。	
事 業 の 方 向 性 (一 次 評 価)		事 業 の 方 向 性 (二 次 評 価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当	A	計画どおり事業を進めることが適当
その他			